

■ インドネシア法務人権省法規総局『法制執務資料条例・地方首長規則編』完成御披露目会及び大石眞名誉教授による講演会が開催されました。

令和4年7月21日、インドネシア法務人権省法規総局と独立行政法人国際協力機構（JICA）との共同出版による『法制執務資料条例・地方首長規則編』の完成御披露目会及びこれに続く大石眞京都大学名誉教授による講演会が、現地・オンラインのハイブリッド形式で、それぞれ開催されました。

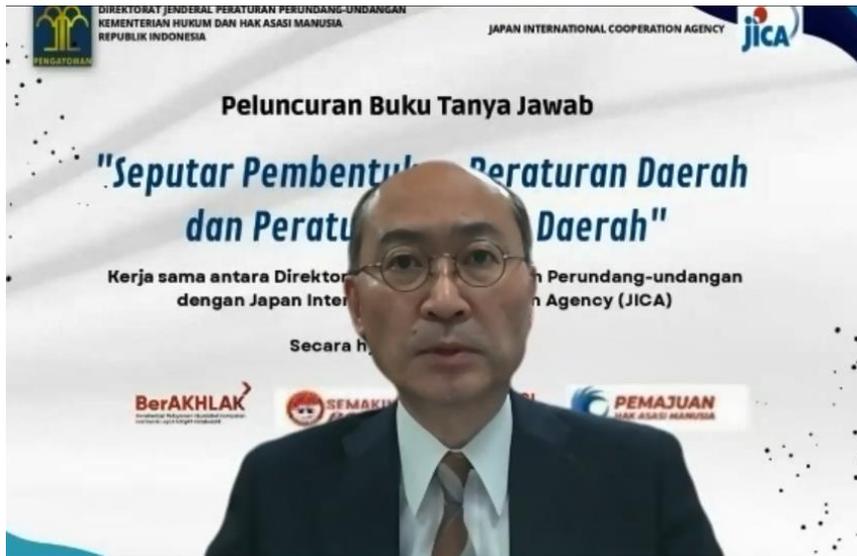
インドネシアでは、法令間の不整合が問題となっているところ、これを解消するための体制作りや「ドラフター」と呼ばれる法案起草・法案審査担当者の能力向上が課題となっており、平成27年12月から実施されたJICAによるプロジェクト「ビジネス環境改善のための知的財産権保護・法的整合性向上プロジェクト」に引き続き、令和3年10月から「ビジネス環境改善のためのドラフターの能力向上及び紛争解決機能強化プロジェクト」が実施され、当省法務総合研究所もこれに密接な協力を行っています。令和元年12月には、プロジェクトの成果として、法令一般の制定過程における論点等が網羅的に質疑応答方式でまとめられた『法制執務資料中央編』が刊行され、ドラフター等の法律実務家から高い評価を受け、その続編の刊行が望まれておりました。

そして、今般、地方政府の条例及び地方首長規則等の起草・審査業務について取り扱った『法制執務資料条例・地方首長規則編』が完成するに至り、その完成御披露目会が開催されるとともに、京都大学の大石眞名誉教授を講師に招き、「国の法令と自治立法の関係」と題する講演会がオンライン形式で開催されたものです。

完成御披露目会では、インドネシア側から、法務人権省副大臣を始め同省幹部職員のほか、同省の地方事務所等からもオンライン形式で多数の参加がありました。また、日本側からは、在インドネシア日本国大使館次席公使及びJICAインドネシア事務所長が出席したほか、当省法務総合研究所上富敏伸所長がオンライン形式で出席し、閉会挨拶を行いました。



【完成御披露目会の様子】



【閉会挨拶を行う上富所長】

講演会では、大石眞名誉教授から憲法と地方自治、地方自治体の構成、自治体と国の関係、国の法令と条例の関係及び条例の法適合性の確保等に関する講義がオンライン形式で行われました。

720名を超えるインドネシア各地のドrafター等の参加を得て、質疑応答の時間では、条例制定における地方首長と地方議会の関係、日本において法令の不整合が生じない原因等、多くの質問や関心が寄せられました。



【講義を行う大石名誉教授（正面左）】

国際協力部は、成功裏に終わった本御披露目会及び講演会の関係者の皆様に心より御礼申し上げるとともに、今後も、JICA等の関係機関と共に、インドネシアにおける法制度整備支援活動に尽力してまいります。